

総務厚生常任委員会

健康で介護のいらない生活を

6月8日に委員会が開催され、元氣わくわく教室を
現地視察し、説明を受けた。

コミセンで介護予防

【目的】

支援や介護の必要がないのかたが、身近な
場所で定期的に運動に
取り組むことにより、
運動習慣を身に付け、
介護予防と健康寿命の
延伸をはかり、住み慣
れた地域で自立した生
活を送ることを目的に
実施する。

【対象者】

◇65歳以上のかた（支
援や介護の必要のない
かた）

【会場】

◇各地区コミュニティ
センター

【実施日程】

◇週1回実施

運動指導は、健康運
動指導士等の有資格者
が行う。



介護予防・日常生 活支援総合事業に ついて

介護保険法により、
市町村が中心となつて
事業を実施することと
なっている。本町でも、
平成29年4月1日から
介護予防・日常生活支
援総合事業がスタート
した。

地域の実情に応じて
地域の支え合いの体制
作りを推進し、また、
いつまでも元氣に暮ら
すために、介護予防の
取り組みを強化するも
のである。

質疑

男性の参加促進は

委員 男性の利用者 が少ないが、その対策

は。

ように、実際に体験す
るような場を設け、参
加を促したい。

当局

男性は、声掛
けしても、なかなか参
加してもらえない。良
いと実感してもらえる

その他
○平成30年度白鷹町重要事
業要望
○定住自立圏構想
などについて説明があった。



元氣わくわく教室（荒砥コミセン）

利用実績

コミュニティセンター	参加人数	男性参加人数
蚕桑地区コミセン	25人	2人
鮎貝地区コミセン	17人	0人
荒砥地区コミセン	12人	1人
十王地区コミセン	20人	0人
鷹山地区コミセン	8人	1人
東根地区コミセン	17人	4人
合 計	99人	8人

平成29年6月8日現在



健康寿命の延伸のため、参加
者の利用拡大が進む施策を！